

主題：信者

メッセージ 43

彼らの現在——神聖な三一の神聖な分与を団体的に経験する

キリストのからだの中に生きることによって

聖書：I コリント 12:12-13, 20, 24-25, 27. ローマ 12:4-5

I. コリント人への第一の手紙第一章において啓示されているように、信者たちはキリストのからだの中に生きることによって、神聖な三一の神聖な分与を団体的に経験します：

- A. 一つ霊の中で、わたしたちはみな一つの有機的な実体、すなわち、キリストのからだの中へとバプテスマされ、みな一つ霊を飲むようにされました—— 12:13：
1. その霊の中でバプテスマされるとは、その霊の中へと入って、彼の中で失われることです。その霊を飲むとは、その霊を受け入れ、わたしたちの存在が彼で浸透されることです。
 2. これら二つの手順によって、わたしたちはその霊とミングリングされ、それによって、一つキリストのからだへと構成されます—— 6:17. 12:20, 27。
- B. 一つからだは、一つ神の召会であり、多くの地方召会として多くの地方で現されます。地方召会を建造することは、それ自身の地方的な建造のためだけではなく、からだ全体の宇宙的な建造のためです—— 1:2. 12:27。
- C. 一つパンは、一つキリストのからだを表徴します。わたしたちはみな一つからだです。なぜなら、わたしたちはみな一つパンにあずかるからです—— 10:17. 5:7-8, 10:3：
1. わたしたちがみなあずかるキリストは、わたしたちを彼の一つからだに構成します。
 2. わたしたちが共同で個人のキリストの体を象徴するパンにあずかるとき、それはわたしたちの中へと入り、わたしたちを団体のキリストのからだを表徴する一つパンにします—— 12:12。
 3. 一つパンは、わたしたちがキリストの命にあずかることだけでなく、キリストのからだの交わりも表徴しています—— 10:16-17。
- D. キリストのからだは団体のキリスト、からだ・キリストです—— 12:12。
1. キリストはご自身においてかしらであり、わたしたちすべての中のキリストはからだです——エペソ 1:22-23。
 2. 主イエスはご自身においてかしらです。しかし、彼はわたしたちの中へと構成される時、からだです——コロサイ 1:18. 2:19. 3:4, 10-11, 15。
 3. すべてのキリストの信者は、有機的に彼と結合され、彼の命と要素で構成され、こうして有機体である彼のからだとなって彼を表現します—— I コリント 6:17. ヨハネ 15:1, 4-5. コロサイ 3:4, 10-11, 15。
- E. ブレンジングは、からだの一を保つことにおいて最も助けとなることです—— I コリント 12:24-25。

- II. ローマ人への手紙において啓示されているように、信者たちはキリストのからだの中に生きることによって、神聖な三一の神聖な分与を団体的に経験します：
- A. 神のみこころとは、キリストのためにからだを獲得して、彼の豊満、彼の表現とすることです—— 12:2, 4-5. 啓 4:11. エペソ 1:5, 9。
1. からだの生活を生きるとは、「何が神のみこころであるかをわきまえる」ことです——ローマ 12:2, 4-5。
 2. わたしたちは召会生活の中で活動し、機能する正しいからだの肢体であるなら、神のみこころにある人たちになります—— I コリント 1:1-2. エペソ 1:1. 5:17。
- B. わたしたちは、キリストとの有機的な結合の中で一つからだです——ローマ 12:4-5。
1. ローマ人への手紙第 12 章がからだについて語っているのは、結合、結合する命、すなわち、わたしたちをキリストだけでなく、キリストの他のすべての肢体とも共に結合するという角度からです—— 4-5 節。
 2. わたしたちはキリストの中で一つからだであり、彼との有機的な結合を持っています。この結合は命の中でわたしたちをキリストと、彼らのからだの他の肢体と一にします：
 - a. からだは組織や、共同体ではなく、わたしたちがキリストの中で持っている命における結合によって生み出された有機体です——ヨハネ 15:1。
 - b. からだは、キリストとの有機的な結合の中で共に結合されているものであり、からだの実際は、キリストとの有機的な結合の中にとどまることです—— 4-5 節。
- C. わたしたちはからだの生活、すなわち、キリストのからだの実際の中に生きるなら、神聖な分与の中で接ぎ木された命を生きる必要があります——ローマ 6:5. 8:6, 10-11. 11:17：
1. 神が願っておられるのは、神聖な命と人の命が共に結合されて、一つの生活を持つ一つの命となることです。このような命における結合は、接ぎ木された命、すなわち、その中で二者が共に有機的に結合され、成長する命です—— I コリント 6:17。
 2. 接ぎ木することを通して、わたしたちはキリストと結合され、ミングリングされ、合併されて、彼の中でキリストの有機的なからだとなります——ヨハネ 15:1, 4-5. ローマ 12:4-5。
- D. キリストのからだが建造されるために、わたしたちは命の中で支配する、すなわち、神聖な命の支配の下にいる必要があります—— 5:17, 21. 12:1-16。
1. ローマ人への手紙第 12 章から第 16 章におけるからだの生活を生きることは、わたしたちが神聖な命によって支配されることを要求しています。
 2. わたしたちが、命の中で支配することによってのみ、からだの生活のために最高の美德の生活を生きることが出来ます—— 12:9-12, 15-16, 18。
 3. わたしたちが命の中で支配し、神聖な命の支配の下で生きるとき、結果は実際のからだの生活、実行上のからだの生活となります—— 5:17, 21. 12:4-5。
- E. 地方召会は、キリストのからだの実行上の表現です—— 16:1-5 前半, 16 後半, 23。
1. 召会は異なる場所で表されているのですが、分離されてはいません。召会は地方

的ではあるのですが、依然として唯一の宇宙的なキリストのからだの一部分です
—— 12:4-5. 16:16 後半。

2. ローマ人への手紙第 16 章は、実際のからだの生活、実行上のからだの生活を示しています。ここでわたしたちが見るのは、すべての召会、すべての聖徒たちはキリストのからだの宇宙的な交わりの中を生きるということです。
3. わたしたちがキリストのからだの交わりの中に生き、地方召会でこのからだを表現するとき、神はサタンをわたしたちの足の下に踏み砕かれ、わたしたちはキリストの恵みを享受し、唯一の知恵ある神に栄光を帰すという結果になります
—— 20, 27 節。

キリストのからだの原則

- I. からだは一つです——ローマ12:4-5. Iコリント12:12-13. エペソ4:4前半. 2:16前半:
- II. キリストのからだである召会は、完全に命の事柄です——ヨハネ17:2. Iヨハネ5:11-12. コロサイ3:4:
- III. キリストのからだはキリストであるので、もしわたしたちがからだの中にいたいなら、キリストへと造り変えられなければなりません——Iコリント12:12. コロサイ3:10-11:
- IV. からだの機能は、キリストを表現することです——エペソ1:22-23:
- V. キリストのからだの実際は、神によって贖われ、神によって神へと造り変えられ、神・人へと造り変えられ、自分によってではなく別の命によって生きているグループの人です。この命は、手順を経て究極的に完成された三一の神です——ガラテヤ2:20. ピリピ1:19-21前半. 3:10:
- VI. キリストのからだは、完全にキリストの復活の命の中にあります——ヨハネ11:25. 使徒2:24. 啓1:18. 2:8. ピリピ3:10:
- VII. キリストのからだは、新創造です——ガラテヤ6:15. IIコリント5:17. エペソ2:15. 4:24:
- VIII. 十字架の働きは、からだをもって究極的に完成し、わたしたちをからだの中にもたらしめます——2:16. Iコリント1:18. 2:2. 12:12-13, 27:
- IX. もしわたしたちがからだの命を理解し、その中に入ろうとするなら、かしの権威を知らなければなりません——コロサイ2:19. エペソ4:15. 5:23. 1:22, 10:
- X. 霊的であることはからだの事柄です——4:16:
- XI. わたしたちは、からだの感覚とからだの平安に注意を払う必要があります——3節. 2:14-16. コロサイ3:15:
- XII. わたしたちはからだの感覚、すなわち「からだ感覚」を持つ必要があります——Iコリント12:26-27. ローマ12:15. エペソ4:16. 2:21-22:
- XIII. からだの供給は、調合された塗り油(聖なる塗り油)によって予表されている、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給です——ピリピ1:19-21前半. 出30:23-25:
- XIV. からだの中には、独立や個人主義はあり得ません。なぜなら、わたしたちは肢体であり、肢体はからだから分離しては生きることができないからです——Iコリント12:27. ローマ12:5. エペソ5:30:
- XV. もしわたしたちがからだの中に生きるなら、からだの保護を経験します——6:11-19:
- XVI. わたしたちはからだの肢体として、他の肢体によって自分に制限を受けさせなければならず、また自分の度量を越えてはなりません——4:7, 16. IIコリント10:13. Iコリント12:18:
- XVII. からだには正当な秩序があります——14-22節:
- XVIII. 相互性はからだの特徴であり、からだ機能が相互的です。ですから、か

- らだの中でのわたしたちの関係は、相互性と相互依存の関係です——14-25節。
- XIX.** 神聖な交わりは、キリストのからだの中での生活の実際です——1:9. 12:20, 24, 27. 使徒2:42. 1ヨハネ1:3：
- XX.** わたしたちは常にからだを考慮し、からだを顧慮し、からだを尊び、からだのために最も益になる事を行なうべきです——1コリント12:23-27：

© 2008 *Living Stream Ministry*